

平成26年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年3月31日

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ
 コード番号 3174 URL <http://www.happiness-d.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田 泰夫
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 追川 正義 (TEL) 03-3562-7521
 四半期報告書提出予定日 平成26年4月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第2四半期の業績(平成25年9月1日～平成26年2月28日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第2四半期	9,245	6.9	351	△20.1	334	△19.8	167	△31.0
25年8月期第2四半期	8,648	3.6	440	△1.4	417	0.3	242	2.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年8月期第2四半期	66.03		65.08					
25年8月期第2四半期	95.81		95.52					

(注) 平成25年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。平成25年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第2四半期	8,143	2,139	26.0
25年8月期	8,344	2,000	23.8

(参考) 自己資本 26年8月期第2四半期 2,122百万円 25年8月期 1,990百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年8月期	—	0.00			
26年8月期(予想)			—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成25年8月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年8月期の業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,158	9.8	610	1.7	575	2.9	315	4.8	124.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年8月期2Q	2,530,000株	25年8月期	2,530,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年8月期2Q	—株	25年8月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年8月期2Q	2,530,000株	25年8月期2Q	2,530,000株
----------	------------	----------	------------

(注)平成25年9月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成25年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4頁「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
第2四半期累計期間	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀による金融緩和策により、景気は緩やかな回復基調がみられたものの、為替の影響による輸入物価の上昇や消費増税による個人消費への影響も懸念されることから、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況下、当社は、お客様に感動を与えるプレゼント選びの場を提供する「アニバーサリーコンセプトショップ」という独自のサービスを基本とし、贈る人のときめき感につながるような魅力ある商品の拡充と商品鮮度の管理徹底に努めるとともに、お客様が何度でも足を運びたいくなるような質の高い「おもてなしの接客」に努めてまいりました。

商品施策といたしましては、繁忙期となるクリスマス・年末年始商戦において、宝飾、時計及びバッグ・小物に売れ筋商品や高額商品の取扱いの充実を図りました。また、当社オリジナルブランド商品(ハッピーキャンドル)については、従来からの宝飾品・財布等に加えて2月には新たにバッグの販売を開始するなど、アイテムの拡充とブランド強化に努めてまいりました。

販売活動の施策といたしましては、新店オープンセールやショッピングセンター(SC)のセール企画と連動した販売促進活動に加えて、宝飾を中心に店頭での催事を充実させ、新規顧客の開拓と固定客作りを図ってまいりました。

店舗展開といたしましては、12月に日の出店(東京都)、幕張新都心店(千葉県)の2店舗を新規出店いたしました。幕張新都心店は、当社において初めての高級ブランド時計を中心とした時計専門の新業態店となっております。これにより、当第2四半期末の店舗数は54店舗となりました。

また、長岡店(新潟県)、大分店(大分県)の改装(2月着工3月完成)を行いました。

商品部門別の売上の状況につきましては、宝飾品は催事による販売強化の取り組みに成果が見られたものの、一部の主力海外ブランド商品の不振もあり売上高1,631,530千円、時計は国産時計の販売が好調であったものの、ロレックスをはじめとする主力海外ブランド商品に円安による値上げの影響がみられたことで売上高2,237,592千円、バッグ・小物はルイヴィトンなどの高額ブランド品に同様な値上げによる落ち込みがみられ売上高5,375,328千円、その他は1,130千円となりました。

円安による仕入れ価格の上昇に伴い、販売価格への転嫁を進めておりますが、一部の売れ筋高額商品の販売競争が激化していることもあり、売上総利益率が低下することとなりました。また、2月は週末に全国的な大雪が重なり、一部店舗において営業時間の短縮や休業となったこともあり、当第2四半期は計画を下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高9,245,581千円(前第2四半期累計期間比6.9%増)、営業利益351,488千円(同20.1%減)、経常利益334,854千円(同19.8%減)、四半期純利益167,058千円(同31.0%減)となりました。

なお、当社の業績は、年末年始商戦、とりわけクリスマス時期を中心とした12月の年末商戦のウエイトが高くなっているため、第2四半期に偏重しております。

当社の平成24年8月期 (自 平成23年9月1日 至 平成24年8月31日)、平成25年8月期 (自 平成24年9月1日 至 平成25年8月31日) 及び平成26年8月期 (自 平成25年9月1日 至 平成26年8月31日) における四半期の売上高及び売上総利益は下記のとおりであります。

(単位：百万円)

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
平成24年8月期	売上高 (構成比)	3,174 (20.3%)	5,168 (33.1%)	3,589 (23.0%)	3,697 (23.6%)	15,630 (100.0%)
	売上総利益 (構成比)	808 (20.8%)	1,289 (33.3%)	902 (23.3%)	876 (22.6%)	3,876 (100.0%)
平成25年8月期	売上高 (構成比)	3,128 (18.9%)	5,519 (33.4%)	4,046 (24.5%)	3,841 (23.2%)	16,536 (100.0%)
	売上総利益 (構成比)	793 (19.2%)	1,378 (33.3%)	1,019 (24.7%)	941 (22.8%)	4,132 (100.0%)
平成26年8月期	売上高 (構成比)	3,452 (—)	5,792 (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	売上総利益 (構成比)	818 (—)	1,411 (—)	— (—)	— (—)	— (—)

(注) 上記売上高及び売上総利益には、消費税等を含んでおりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、6,462,592千円となり、前事業年度末と比較して349,217千円減少しております。これは主として、3月の新店3店舗のオープンに向けた商品確保等により商品が810,256千円増加したものの、その支払い等により現金及び預金が835,728千円減少、また前事業年度末日が金融機関の休日であったことにより売掛金が316,433千円減少したことが要因であります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,681,314千円となり、前事業年度末と比較して148,221千円増加しております。これは主として、新規出店のため、建物が72,560千円、工具、器具及び備品が21,408千円、有形固定資産のリース資産(純額)が24,052千円、敷金及び保証金が29,853千円増加したことが要因であります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、3,005,583千円となり、前事業年度末と比較して298,702千円減少しております。これは主として、支払手形及び買掛金が242,654千円、償還により1年内償還予定の社債が63,100千円減少したことが要因であります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、2,999,173千円となり、前事業年度末と比較して40,470千円減少しております。これは主として、新店および改装の工事費用のため、その他の固定負債が122,410千円増加したものの、償還により社債が60,000千円減少、長期借入金が105,966千円減少したことが要因であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、2,139,150千円となり、前事業年度末と比較して138,176千円増加しております。これは主として、四半期純利益により利益剰余金が129,108千円増加したことが要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,842,842千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は453,190千円となりました。これは、主として税引前四半期純利益328,286千円、売上債権の減少322,753千円、減価償却費95,926千円がプラスに寄与した一方で、新規出店及び高額商品の充実等に伴うたな卸資産の増加817,866千円、仕入債務の減少242,654千円、法人税等の支払額118,803千円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は61,559千円となりました。これは、主として新規出店及び改装等に伴う有形固定資産の取得29,383千円、敷金及び保証金の差入35,644千円の支出があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は320,978千円となりました。これは、主として長期借入れによる収入600,000千円があった一方で、長期借入金の返済729,214千円、社債の償還123,100千円、配当金の支払37,893千円、長期未払金の支払23,871千円、リース債務の返済6,899千円があったこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月11日に公表いたしました平成26年8月期の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,681,555	1,845,827
売掛金	1,052,860	736,427
商品	2,856,504	3,666,760
貯蔵品	95,199	98,597
その他	125,690	114,980
流動資産合計	6,811,810	6,462,592
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	452,096	524,656
構築物 (純額)	147	39
工具、器具及び備品 (純額)	212,713	234,121
リース資産 (純額)	10,052	34,104
有形固定資産合計	675,010	792,923
無形固定資産		
リース資産	24,106	20,165
その他	16,028	13,083
無形固定資産合計	40,134	33,248
投資その他の資産		
敷金及び保証金	451,410	481,263
関係会社株式	88,159	88,159
その他	281,014	288,055
貸倒引当金	△2,636	△2,336
投資その他の資産合計	817,947	855,142
固定資産合計	1,533,092	1,681,314
資産合計	8,344,903	8,143,907

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,346,046	1,103,392
1年内返済予定の長期借入金	1,264,668	1,241,420
1年内償還予定の社債	247,600	184,500
未払法人税等	125,955	161,545
賞与引当金	66,751	64,846
資産除去債務	2,928	—
その他	250,334	249,879
流動負債合計	3,304,285	3,005,583
固定負債		
社債	100,000	40,000
長期借入金	2,808,576	2,702,610
資産除去債務	71,897	74,982
その他	59,169	181,580
固定負債合計	3,039,643	2,999,173
負債合計	6,343,928	6,004,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	324,530	324,530
資本剰余金	311,880	311,880
利益剰余金	1,347,865	1,476,973
株主資本合計	1,984,275	2,113,383
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,233	8,743
評価・換算差額等合計	6,233	8,743
新株予約権	10,465	17,022
純資産合計	2,000,974	2,139,150
負債純資産合計	8,344,903	8,143,907

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
売上高	8,648,085	9,245,581
売上原価	6,475,998	7,015,322
売上総利益	2,172,087	2,230,259
販売費及び一般管理費	1,731,836	1,878,771
営業利益	440,250	351,488
営業外収益		
受取利息	468	819
受取配当金	145	181
受取手数料	304	359
業務受託料	—	2,055
受取保険金	183	1,696
その他	311	1,074
営業外収益合計	1,412	6,185
営業外費用		
支払利息	19,325	19,913
社債利息	1,863	929
その他	2,533	1,975
営業外費用合計	23,721	22,818
経常利益	417,941	334,854
特別損失		
固定資産廃棄損	5,699	3,828
事業譲渡損	—	2,740
特別損失合計	5,699	6,568
税引前四半期純利益	412,241	328,286
法人税、住民税及び事業税	155,365	154,316
法人税等調整額	14,463	6,911
法人税等合計	169,829	161,227
四半期純利益	242,412	167,058

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 9 月 1 日 至 平成25年 2 月 28 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成25年 9 月 1 日 至 平成26年 2 月 28 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	412,241	328,286
減価償却費	82,552	95,926
株式報酬費用	2,616	6,557
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△510	△300
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,609	△1,527
受取利息及び受取配当金	△614	△1,000
支払利息	19,325	19,913
社債利息	1,863	929
受取保険金	—	△1,696
固定資産廃棄損	5,699	3,828
事業譲渡損益 (△は益)	—	2,740
売上債権の増減額 (△は増加)	4,543	322,753
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△795,483	△817,866
仕入債務の増減額 (△は減少)	△186,256	△242,654
未払金の増減額 (△は減少)	4,440	19,746
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△24,822	△7,788
その他	3,711	△43,393
小計	△468,083	△315,544
利息及び配当金の受取額	407	1,138
利息の支払額	△22,467	△21,676
保険金の受取額	2,995	1,696
法人税等の支払額	△215,962	△118,803
営業活動によるキャッシュ・フロー	△703,109	△453,190
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△50,260	△29,383
投資有価証券の取得による支出	△1,935	△1,968
敷金及び保証金の差入による支出	△14,203	△35,644
敷金及び保証金の回収による収入	212	5,612
その他	△1,477	△175
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,664	△61,559

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	670,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△673,477	△729,214
社債の償還による支出	△156,100	△123,100
長期未払金の返済による支出	△20,156	△23,871
リース債務の返済による支出	△15,154	△6,899
配当金の支払額	△31,480	△37,893
財務活動によるキャッシュ・フロー	△226,368	△320,978
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△997,142	△835,728
現金及び現金同等物の期首残高	2,813,836	2,678,570
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,816,693	1,842,842

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はインポートブランドを中心とした宝飾品、時計及びバッグ・小物等の小売業という単一セグメントであるため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。